

取扱説明書

感震式落下防止バー

アップガード(伸縮型)



本製品はスチール書架・キャビネット用の落下防止装置です。
本来の用途以外では使用しないでください。

このたびは、感震式落下防止バーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この説明書は、商品の使い方と使用上の注意事項及び組み立て方について記載しています。ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にお使いいただくために (必ずお守りください)



警告

この警告事項を守らなければ、死亡または重傷などを負う可能性があります。

本来の用途以外で使用しないでください。

本製品は書類・書籍用で、80kg/段を想定しています。著しく重いものを載せると本体の故障、破損により保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

破損や傾きのある書架に設置しないでください。

ユニットがはずれたり、バーが揺れて上昇せず、保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

本体に加工や改造を行わないでください。

本体の故障、破損により保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

取付部材(粘着シート、マグネットシート等)をはずして使用しないでください。

感震ユニットが不安定になり、揺れて本体と保管物が飛び出し、ケガをする恐れがあります。

廃棄するときは、専門業者にお任せください。



注意

この注意事項を守らなければ、傷害を負うかまたは物的損害が生じる可能性があります。

製品の孔に指を入れないでください。

孔に指を入れると、ケガをする恐れがあります。特に小さなお子様には気をつけてください。

危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないでください。

衝撃で保管物が破損し、人体や衣類等を傷つけることがあります。

ボルトやナットが緩んだまま使用しないでください。(定期的な点検してください)

本体の故障、破損、動作不良により保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

異常を発見したまま使用しないでください。

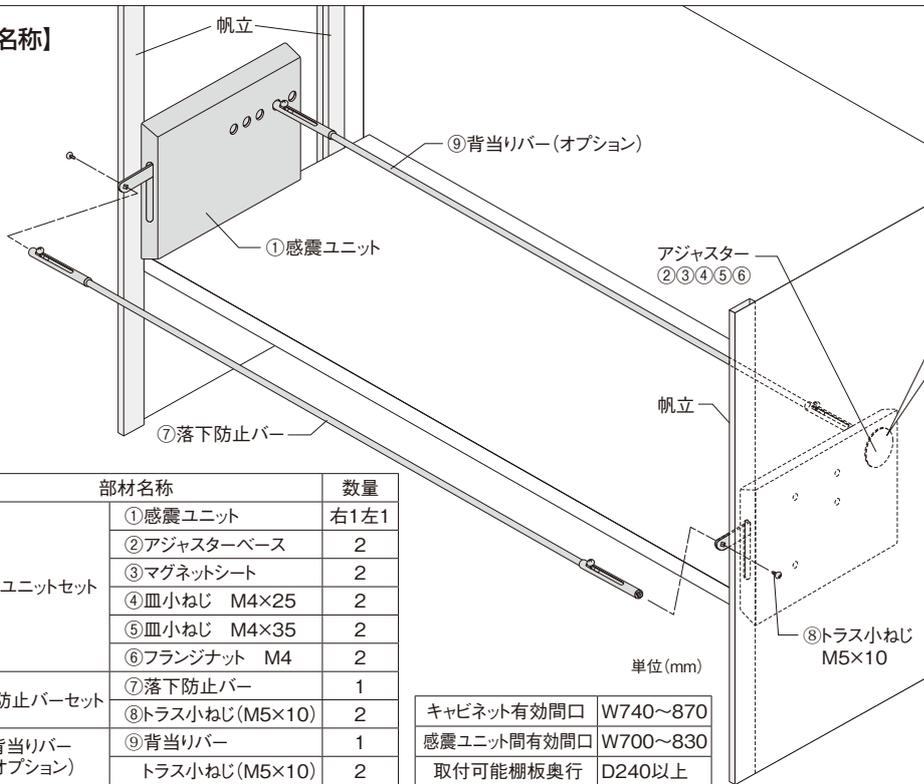
本体の故障、破損、動作不良により保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

手順に従い正しく設置してください。

ユニットのはずれや動作不良により保管物が落下し、ケガをする恐れがあります。

※この商品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡しく下さい。

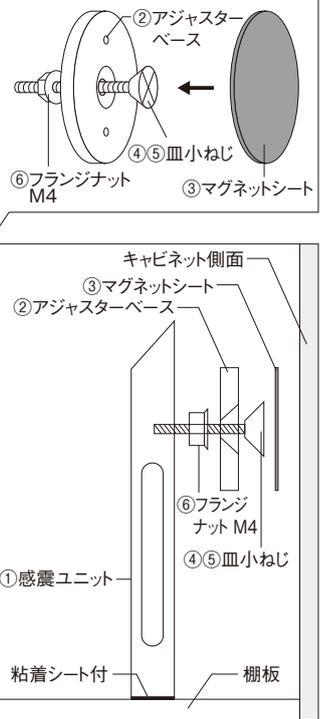
【各部名称】



部材名称		数量
感震ユニットセット	①感震ユニット	右1左1
	②アジャスターベース	2
	③マグネットシート	2
	④皿小ねじ M4×25	2
	⑥皿小ねじ M4×35	2
	⑥フランジナット M4	2
落下防止バーセット	⑦落下防止バー	1
	⑧トラス小ねじ(M5×10)	2
背当りバー(オプション)	⑨背当りバー	1
	トラス小ねじ(M5×10)	2

キャビネット有効間口	W740~870
感震ユニット間有効間口	W700~830
取付可能棚板奥行	D240以上

【アジャスター部】



はじめに

必要工具: プラスドライバー

設置するキャビネットの形状を確認してください。(右表参考)

キャビネットの形状により、部材、組立手順が変わります。

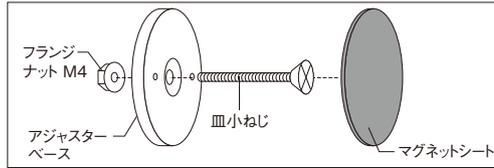
帆立高さ	フラット	10~20mm	20~30mm
キャビネット形状			

1. アジャスターの取付け

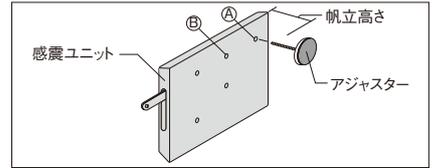
【使用アジャスターと皿小ねじの確認】

帆立高さ	フラット※	10~20mm	20~30mm
アジャスター	使用しません	○	○
使用皿小ねじ	使用しません	25mm	35mm

※フラットの場合は感震ユニットに直接マグネットシートを貼り付けてください。(A孔の位置)

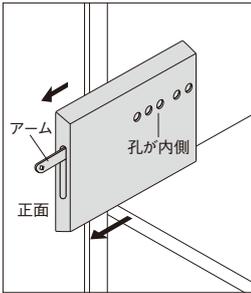


①アジャスターベースを皿小ねじとナットではさみ込むように固定して、離型紙を剥がしたマグネットシートを貼り付けます。

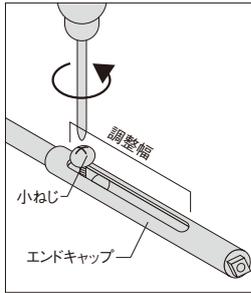


②感震ユニットのA孔にアジャスターを取り付けて、帆立高さに合わせます。(左右共)
※キャビネット横の凸部に干渉する場合はB孔に取り付けてください。

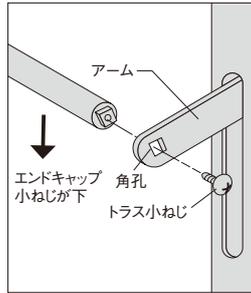
2. アップガードの取付け



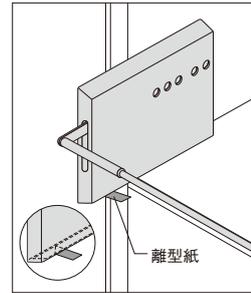
①感震ユニットのアームがキャビネットより出るように仮置きます。(左右共)
※底面の粘着シート離型紙を剥がさないでください。



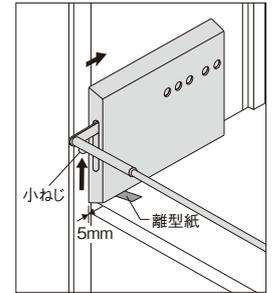
②左右のエンドキャップの小ねじをゆるめて、落下防止バーの長さを調節します。
※小ねじがはずれるまでゆるめないでください。



③アームの角孔にバー先端の角突起を差し込み、トラス小ねじで固定します。(左右共)
⚠アームの角孔とバーの角突起を嵌合させてください。小ねじは下に向けて取り付けてください。

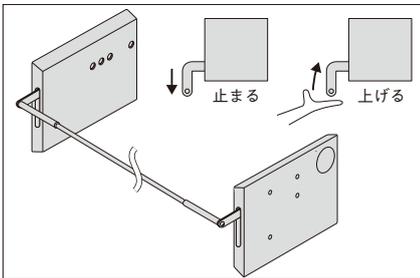


④粘着シート前面端部の離型紙を少し剥がし、図のようにユニットから出るようにします。

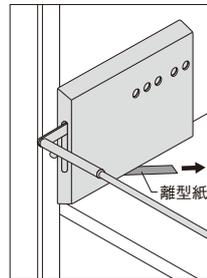


⑤感震ユニット先端が5mm程度、帆立に掛かるように奥に押し込みます。エンドキャップの小ねじの位置を、左右均等になるように配置して小ねじを締めてください。

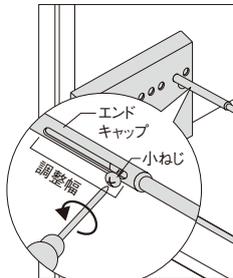
背当りバー (オプション) の取付け



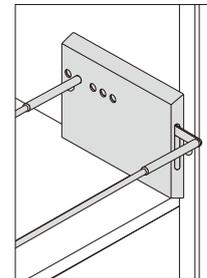
⑥落下防止バーを下げると止まり、軽い力でスムーズに上がるか確認してください。
※調整が必要な場合、下の(感度調整方法)を参照して調整してください。



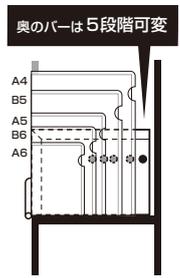
⑦粘着シート離型紙を奥へ引くように剥がし、ユニットを固定します。



①左右のエンドキャップの小ねじをゆるめて、片方の背当りバー取付孔に差し込みます。
※キャビネット有効間口820mm以上の場合は、背当りバーの両端に付属のトラス小ねじを取り付けてください。



②反対側の背当りバー取付孔にバーを差し込みます。背当りバーの長さを最大に調節して、エンドキャップの小ねじをしっかりと締めてください。

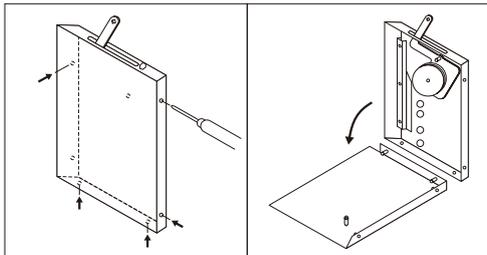


⚠ 注意

バーを固定するトラス小ネジは定期的にはゆるみがないかご確認ください。

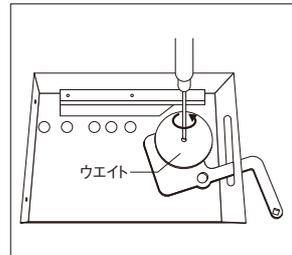
※落下防止バーは地震の揺れにより自動的に上昇しますが、あらゆる条件において確実に書籍の落下を防ぐためには作業後に手でバーを上げることをお勧めします。

〈アップガード(伸縮性)の感度調整方法〉

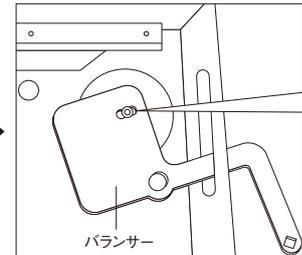


プラスドライバーを用いて、ユニットの側面・底面・裏面にあるネジを5ヶ所はずし、ユニットカバーを取りはずします。

必要工具：プラスドライバー(No.2)



上面ウエイトを固定しているネジをはずし、上面ウエイトを取りはずします。



スペーサーの位置を変えてバランスを調整します。出荷時は中央にスペーサーが配置されています。バーの感度に応じて調整してください。

